

令和2年度 立川市立松中小学校授業改善推進プラン全体計画

学力向上を図るための全体計画

<p>日本国憲法・教育基本法 東京都教育委員会教育目標 立川市教育委員会学校教育の指針 『確かな学力と豊かな心を育む教育の一層の充実を図る』</p>	<p>本校教育目標 「やさしく かしく たくましく」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共感する態度で接し、相手を思いやり、互いの良さを認め合う ・自ら学び・考え・伝え合い、体験を通して基礎・基本の学力を身に付ける ・よりよい生活習慣を身付け、体力の向上を図り、何事にも粘り強く取り組む 	<p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心の育成 ・基礎・基本の定着 <p>地域の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員 ・規範に則った行動
---	--	--

<p>各教科の指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習環境の整備をする。 ・基礎・基本の定着を図る。 ・体験学習を重視する。 ・課題解決的な学習を展開する。 	<p>本校の学校経営方針 (学力向上に関わる要点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に集中できる環境づくり ・効果的な学習指導を行う ・習得内容の定着 ・自己理解、他者理解を深める ・学習に向かう意欲を高める <p>本校における「目指す学力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力 (話す、聞く、分かり合う、伝え合う力) ・読む、書く、計算する力 (基礎・基本となる力) ・自ら学び考える力 (意欲、判断力、実践力) 	<p>生活指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な社会のルールを身に付けさせる。 ・相手の立場や気持ちを考えて行動できる児童を育てる。
<p>道徳教育の指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の生き方についての考えを深める活動を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ・児童に考えさせて論議させることを通して、自ら考えを深めながら道徳性を高めていく機会を保障していく。 		<p>総合的な学習の時間の指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を見付け追究する力を付ける ・多様な方法で表現する力を付ける ・人、自然、生き物との豊かな関わりをもてるようにする。
<p>特別活動の指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的活動を通して主体性と社会性を養うとともに、集団の一員としての自覚をもたせる。 ・児童の発想や創意を生かした活動により、充実感を味わわせる。 		<p>外国語・外国語活動の指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度とコミュニケーションの素地を養う。
		<p>進路指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の良さや可能性に気付かせ、生涯にわたって自ら学ぼうとする生涯学習の基礎を身に付けさせる。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境を生かし、豊かな体験学習に取り組む。 ・授業のUD化を進め、指導改善を行う。 ・基礎・基本の徹底を図る指導法を共有する。 ・読書意欲を高める図書館運営をする。 ・児童の意欲を高める教材開発や導入の工夫等を研究する。 ・東京ベーシック・ドリルの結果を活用する。 ・まっなか塾(放課後学習教室)で算数の基礎・基本の力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習では、算数(計算力)漢字、読書に取り組む、学力の基礎・基本を身に付ける取り組みを行う。 ・算数科担当教諭を中心に授業準備を進め習熟度別指導を充実させる。 ・会議の精選及び生活時程の工夫により、研修時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びをかしく活用して、適切な自他の関わりを築くことができるように授業のUD化を推進し、学習支援の方法を工夫する。 ・共同及び交流学習の確立に向けて、自己理解他者理解を深め共に学ぶ力を付ける。 ・互いの授業を見合い、授業力向上に努める。 ・指導の共有化を図るための実践的な研修会を実施する。(OJT) 	<ul style="list-style-type: none"> ・賞賛の場面を増やし、児童の意欲を引き出す。 ・児童が自分の良さや達成度を実感できるように評価の工夫をする。 ・評価規準を明確にして、結果(評価)を次に生かしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開、学校関係者評価等により、地域や児童、保護者の声を集め、活かす。 ・児童の生活習慣の改善を図る。(生活習慣調査等) ・学習支援者、ゲストティーチャーを活用する。 ・家庭学習への協力を保護者へ呼びかける。(学年×10分を基本とする) ・小中連携活動を通して、9年間を見越した学習指導や生活指導の充実を図る。